



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月4日

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド 上場取引所 東 名
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	16,363	16.9	2,033	204.2	2,236	186.3	1,858	248.6
26年3月期第2四半期	13,994	△17.5	668	△75.6	781	△71.6	533	△68.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,432百万円 (210.1%) 26年3月期第2四半期 784百万円 (△44.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	71.66	—
26年3月期第2四半期	20.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	50,187	43,571	86.8	1,679.79
26年3月期	46,648	41,507	88.9	1,598.32

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 43,571百万円 26年3月期 41,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,300	10.2	2,700	107.6	2,950	92.2	2,300	187.7	88.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	30,699,500株	26年3月期	30,699,500株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	4,760,671株	26年3月期	4,760,651株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	25,938,831株	26年3月期2Q	25,939,077株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、先進国においては米国で景気回復基調が続きましたが欧州および日本においては停滞感が漂い、中国をはじめとする新興国においては、依然として先行きに不透明感が残る状況でありました。

一方で世界半導体市場は、スマートフォンや車載関連需要の拡大に加え、法人向けパソコンの買い替え需要による下支えもあり堅調に推移しました。このため、主力のシリコンウェハー市場につきましてもウェハー出荷が高い水準で推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16,363百万円（前年同期比16.9%増）、営業利益2,033百万円（前年同期比204.2%増）、経常利益2,236百万円（前年同期比186.3%増）、四半期純利益1,858百万円（前年同期比248.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、堅調な半導体市場を背景としたシリコンウェハー向け製品の販売増加および一般工業用研磨材の販売増加などにより、売上高は9,207百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益（営業利益）は売上増加に加え製品構成の良化により1,735百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

北米につきましては、売上高は2,309百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益（営業利益）は為替の影響およびグループ内の知的財産管理再編の影響により208百万円（前年同期比145.1%増）となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品およびアルミディスク向け製品の販売が増加したことから、売上高は4,071百万円（前年同期比56.3%増）、セグメント利益（営業利益）は648百万円（前年同期はセグメント損失131百万円）となりました。

欧州につきましては、CMP向け製品の販売が減少したことから売上高は775百万円（前年同期比6.4%減）となりましたが、セグメント利益（営業利益）は為替の影響などにより60百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場の需要増加の影響を受け、ラッピング材の売上高は1,667百万円（前年同期比7.1%増）、ポリシング材の売上高は3,024百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

CMP向け製品につきましては、アジア市場で最先端ロジックデバイス向け製品の販売が好調であったことから、売上高は4,888百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、アルミディスク向け製品で当社シェア拡大もあり売上高は1,577百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、売上高は4,083百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、3,538百万円増加し、50,187百万円となりました。これは、現金及び預金が2,979百万円、受取手形及び売掛金が1,093百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、1,474百万円増加し、6,615百万円となりました。これは、未払法人税等が539百万円、支払手形及び買掛金が528百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、2,064百万円増加し、43,571百万円となりました。これは、利益剰余金が1,539百万円、為替換算調整勘定が518百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年10月17日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しております。

退職給付会計基準等の適用に伴い、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を見直し、平均残存勤務期間に対応する単一の債券利回りを基礎として決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が107百万円減少し、利益剰余金が69百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,709	15,689
受取手形及び売掛金	5,780	6,874
有価証券	5,106	5,105
商品及び製品	2,721	2,745
仕掛品	894	817
原材料及び貯蔵品	1,491	1,568
繰延税金資産	393	661
その他	825	209
貸倒引当金	△25	△30
流動資産合計	29,898	33,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,779	7,794
その他(純額)	6,791	6,565
有形固定資産合計	14,570	14,359
無形固定資産	593	529
投資その他の資産		
投資有価証券	126	196
繰延税金資産	176	167
その他	1,515	1,523
貸倒引当金	△232	△232
投資その他の資産合計	1,586	1,655
固定資産合計	16,750	16,544
資産合計	46,648	50,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,713	3,241
未払法人税等	56	595
繰延税金負債	—	0
賞与引当金	554	922
役員賞与引当金	—	37
その他	1,389	1,480
流動負債合計	4,713	6,278
固定負債		
繰延税金負債	13	15
退職給付に係る負債	389	298
その他	23	21
固定負債合計	427	336
負債合計	5,140	6,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,069
利益剰余金	37,052	38,591
自己株式	△5,711	△5,711
株主資本合計	41,163	42,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	94
為替換算調整勘定	340	858
退職給付に係る調整累計額	△93	△84
その他の包括利益累計額合計	295	869
新株予約権	48	—
純資産合計	41,507	43,571
負債純資産合計	46,648	50,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	13,994	16,363
売上原価	9,396	9,929
売上総利益	4,598	6,434
販売費及び一般管理費	3,929	4,400
営業利益	668	2,033
営業外収益		
受取利息	34	23
為替差益	67	130
その他	36	65
営業外収益合計	138	219
営業外費用		
減価償却費	5	4
固定資産除売却損	20	12
その他	0	0
営業外費用合計	26	17
経常利益	781	2,236
特別利益		
新株予約権戻入益	2	48
特別利益合計	2	48
税金等調整前四半期純利益	783	2,284
法人税、住民税及び事業税	276	741
法人税等調整額	△25	△315
法人税等合計	250	426
少数株主損益調整前四半期純利益	533	1,858
四半期純利益	533	1,858

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	533	1,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	46
為替換算調整勘定	242	518
退職給付に係る調整額	—	9
その他の包括利益合計	251	574
四半期包括利益	784	2,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	784	2,432

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	783	2,284
減価償却費	985	878
長期前払費用償却額	1	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	36	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	14	37
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△83	363
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	30
受取利息	△34	△23
為替差損益 (△は益)	△69	△58
固定資産除売却損益 (△は益)	20	12
新株予約権戻入益	△2	△48
売上債権の増減額 (△は増加)	592	△954
仕入債務の増減額 (△は減少)	△777	414
たな卸資産の増減額 (△は増加)	776	80
未払金の増減額 (△は減少)	△596	△88
その他	△21	194
小計	1,623	3,129
利息及び配当金の受取額	44	27
法人税等の支払額	△1,631	△232
法人税等の還付額	—	641
営業活動によるキャッシュ・フロー	36	3,565
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,106	△2,437
定期預金の払戻による収入	1,404	1,106
有価証券の取得による支出	△1,500	△1,000
有価証券の償還による収入	2,000	1,600
有形固定資産の取得による支出	△1,191	△384
無形固定資産の取得による支出	△100	△14
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△495	△1,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△518	△389
その他	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523	△393
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	159
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△913	2,201
現金及び現金同等物の期首残高	14,009	12,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,095	15,191

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	8,347	2,213	2,604	829	13,994	—	13,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,603	600	63	—	3,268	△3,268	—
計	10,951	2,814	2,668	829	17,262	△3,268	13,994
セグメント利益又は損 失(△)	1,370	84	△131	44	1,368	△699	668

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△699百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△661百万円及び棚卸資産の調整額△41百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	9,207	2,309	4,071	775	16,363	—	16,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,956	508	76	—	3,541	△3,541	—
計	12,163	2,817	4,148	775	19,905	△3,541	16,363
セグメント利益	1,735	208	648	60	2,653	△619	2,033

(注) 1. セグメント利益の調整額△619百万円は、セグメント間取引消去189百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△759百万円及び棚卸資産の調整額△50百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。